

畜産 FAX 情報 第9号

令和7年9月1日

発行:ゆとりみらい 21 推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

1.飼料用とうもろこしは収穫適期を迎えます

生育は平年よりも早く進んでおり、収穫適期である黄熟中期は9月5日(平年より11日早い)です。

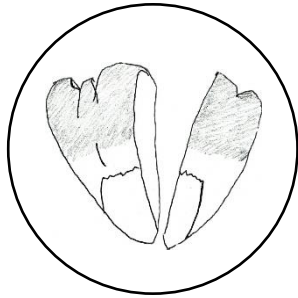
収穫適期の予測は、前回の FAX 情報よりやや早まっています。ほ場を確認し、ミルクラインが芯の方から 1/2~1/3 部分に見られるか、すす紋病や根腐れ病が発生していないか確認してください。

2.クラッシャーのかけ方

クラッシャーは子実の登熟に合わせて調整しましょう。

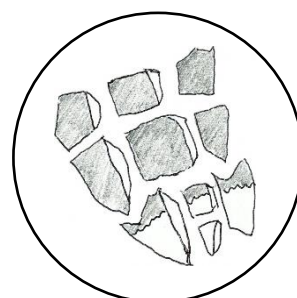
<黄熟中期の場合>

- ・子実に亀裂が入るようしっかり割る



<過熟の場合>

- ・小さくなるまで粉碎する



3.過熟の場合

過熟の飼料用とうもろこしは、子実が消化吸収されないまま糞として排出されます。そのため、粗飼料分析値でデンプン値が高くても、配合飼料を増やす必要があります。

飼料コスト低減のため適期収穫を目指し、過熟になってしまった場合はクラッシャーを強くかけて対応しましょう。

**この先、日没時間が早くなります。
お互い声を掛け合い、安全確認を念入りに！**